

世界戦後の地名考 (八)

瀧川 規 一

アガチル(Agadir)。**モロッコ**(Morocco)の海

岸及び海港。ケープ・ギル(Cape Ghr)の南二三哩。モロッコに於ける佛蘭西の勢力に對して均衡を保つために一九一〇年獨乙の資本家等はサルタンより廣大なる地域を租界として買収した。一九一二年七月獨乙政府は砲艦バンサ(Pan-ther)をアガチルに送り同艦の士官等は佛蘭西の支配を排斥する場合獨乙がモロッコの指揮者(kaid)等を支援するとの約束をなした。この約束が殆ど歐洲戦争を惹き起さんとしたが、獨佛兩政府は協定をなし以てモロッコに於て佛蘭西の自由權を認めその代償として獨乙はコンゴ(Congo)盆地に於ける約十萬平方哩の地を讓與されることにした。一九三〇年アガチル港は自

由港となつた。

アガチア(Agagia)。**リビア**(Libya)の砂漠にある駐屯地。バラニ(Barani)より東南一四哩であつて地中海より内地に向つて一二哩の地點にあり、アレキサンドリア(Alexandria)から西に當り海岸道路の近くにある。一九一六年二月アガチア附近に於て英國軍隊は回教徒のセヌシ(Senussi)教團を撃破した。この教團は回教徒のシチ・モハメッド・ベン・アリ・エス・セヌシ(Sidi Mohamed ben Ali es Senussi)と云ふアルゼリア人によつて一八三五年に組織され本部をアレキサンドリアに置いて居つたが、やがて砂漠に退いた。中央スーダン(Sudan)に對して廣く主權を握り西部アフリカ全部に對して權力があつ

た。世界大戰の間土其古及び獨乙に促がされて一九一五年十一月に埃及に侵入しその勢力はアラビア人・バーバ(Berber)人及び土其古人を合して三萬と稱せられた。爲めに英國埃及聯合軍はソラム(Sollum)及びシデ・バラニ(Sidi Barani)より陣地を撤去し全軍の力をマーサ・マツル(Mersa Matruh)に集中した。

マーサ・マツルに於て英軍の將ウオレス(Wallace)はセヌシ教團を十一月にこの町の西及南に驅逐した。アガデア附近に於て一九一六年二月英軍が勝利を得るや續てソラムは奪回された。セヌシ教團はその他の場所に於てはナイル河附近まで迫つてゐたが、一九一六年五月英軍は伊太利軍に援助されて教團をバハリア(Baharia)及び西部のオエシス地帯から驅逐したので、この教團の蜂起が粉碎された。

アーゲン(Agen)。佛蘭西の都會。ロ・テ・ガロン(Lot-et-Garonne)縣の首都。ガロン(Garonne)河畔にありボードー(Bordeaux)の東南に

當り鐵道によつて八四哩の地點にある。古代にアデンナム(Aginum)と稱せられた處である。僧正の管割區であつて十二世紀の伽藍がある。市内には多くの古代の建物があり施設建造物がある。佛蘭西の學者としてまた年代記の著者として有名なジョゼフ・スカリゼ(Joseph Justus Scaliger 一五四〇—一六〇九年)の誕生地である。市の人口二萬三千餘。

中世紀に於てはアージャンの附近の地方はアキテーン(Aquitaine)の一部となり後にはツルーズ(Toulouse)の一部となつて、アゼネー(Agenais)として知られてゐた地方である。

アグテレク(Aggtelek)。北ハンガリ國の村。

この村はゲーメル・エス・キス・ホント(Gömör és Kis-Hont)郡にありブダペスト(Budapest)の東北に位する。附近に迷路的な鐘乳石の大洞窟があるので有名となつてゐる。洞窟の長さは分岐の洞窟と共に五哩以上に亘り有史以前の遺物が多く發見された。

アジャンクール(Agincourt)。佛蘭西のバ・ヅ・カン(Pas-de-Calais)縣にある村。サン・ポール(San Pol)の町から十四哩、ブーロン(Boulogne)の東南二九哩の地點にある。一四一五年十月二十五日に英軍と佛軍とが戦つたので有名となつた。英人はアジンコールと呼んでゐる。英軍はヘンリ五世の指揮の下に約九千(一説に一萬五千)の兵力を有し佛軍はその四倍の兵力を以て對抗した。英軍は主として弓隊であつて、糧食の缺乏と疲勞とに悩んでゐたに拘らず三時間の戦鬪の後に佛軍を破つた。英軍の損害は千六百、佛軍の損害は一萬人を出したと云はれてゐる。

英國軍艦にアデンコールト(Agincourt)と云ふのがある。ブラジル(Brazil)國の爲めに英國ノザンバランド(Northumberland)のエルスウィック(Elswick)にあるアームストロング(Sir W. G. Armstrong, Whitworth & Co. Ltd.)會社のエルスウィック工場(Elswick Works)に於

て製艦され、土其古はこの軍艦を譲り受けたので、英國政府は一九一四年その竣工を待つてこれを奪取しジユトランド(Jutland)の海戦に参加せしめたので有名である。

アグリ(Agrà)。シシリ(Sicily)のカタニア(Catania)州にある都會。古代のアジリアム(Agyrium)の跡に建設された都市であるサン・フィリポ・ダルジロ(San Filipo d'Argiro)として昔知られてゐた。シシリ島にある最古の都市の一であり、カタニアの西北三五哩にあつて大理石の産出によつて有名である。紀元前一世紀の後半に居つた希臘の歴史家デオドラス・シキュラス(Diodorus Siculus)の誕生地である。人口約二萬二千五百。

アグラ(Agra)。印度の都會及び要塞。ジユムナ(Jumna)河の右岸にあり、デルハイ(Delhi)或はデリー(Delhi)とも云はれる都會より鐵道によつて東南一三八哩の地點にある。要塞は一五六六年アクバル(Akbar)によつて築造され城

壁は周圍一哩半、高さは七〇呎ある。城内にはシャ・ジャハン(Shah Jāhān 又は Jehān)の宮殿がある。城外の遠からぬ處に有名なタイ・マハン(Taj Mahal)と稱する印度回教徒(Indo-Moslem)の靈廟がある。この靈廟は一六五〇年蒙古皇帝シャ・ジャハンがその愛する皇后ノール・マハル(Nour Mahal)の記念の爲に建てられて完成したものであつて、建物は主として白色大理石より成りこれを建てる爲めに二萬人が二十年間以上働いたと云はれてゐる。

モチ・イスミッド(Moti Masjid)及びシャ・イスミッド(Jama Masjid)と稱する宏壯な回教の殿堂が二つありその他多くの宮殿及び墳墓の遺跡がある。

英國政府の建物としては政廳(Government House)大學及び兵營がある。この都會は鐵道の中心地であり商業の中心地である。市内の製造品は靴・レース、及び象眼モゼイクであり市は穀物・木綿・煙草及び砂糖の集散地である。

ジユムナ河はアグラ運河と相俟つて運輸の便を供してゐる。アグラは一五六六年より一六五八年に至る間蒙古帝國の首都であつた。一八〇三年英國のレーク卿(Lord Lake)によつて奪取され、一八五七年には叛亂が起りその年の八月より十月まで三ヶ月間英人は籠城をなした。人口は市内十八萬五千五百餘。地方(district)の總人口百六萬餘である。

アグラム(Agram)。**ユーゴ・スラヴィア**(Yugo-Slavia)の都會。ハンガリア人はザグラブ(Zagrab)又はザグレン(Zagreb)と呼んでゐる。サーヴ(Save)河の左岸近くに位し、鐵道によつてフューメ(Fiume)の東北東四二哩の處にある主要建造物としては十五世紀ゴチック式建築の伽藍があり大僧正の宮邸及び總督(Pan)又は知事の官邸がある。また一八七四年創設の大學及び自然科學博物館がある。この都會は一〇九四年ラデスラウス(Ladislav)一世により創設され一二四二年には自由市となり一八六七年にはク

ロアチア・スラヴォニア (Croatia-Slavonia) の首府となつた。一九一八年オーストリア・ハンガリ帝國が崩壊せんとするやクロアチアの假政府がこの地に立てられた。市の製造品は革製品・リンネル・絨氈・車輛であり葡萄酒・穀物類及び牛皮を貿易品としてゐる。人口十三萬。

アグリゼンタム (Agrigentum)。シシリ島の南海岸にある古代の都會であり近代のジルゼンチ (Girgenti) のことである。鐵道によつてパレルモ (Palermo) より南八四哩である。希臘人はアクラガス (Akragas) と呼んでゐた。紀元前五八一年頃に同島の南岸にあるゼラ (Gela) よりの殖民によつて創設され間もなく富と領土とを獲得し一時人口二十萬あつたと云はれてゐる。この地には多くの美しき殿堂があり、殊にジュピタ (Jupiter) の殿堂はシシリ島内の最立派な殿堂の一として有名である。紀元前四〇五年にはカーセージ (Carthage) 人によつて破壊されて紀元前三四〇年にはチモリオン (Timoleon) によつて

再び建造され、紀元前二六四年に始つたカーセージ人と戦つた第一次ピュニク (Punic) 戰爭中及び紀元前二一〇年には市は掠奪を受けた。然るに猶數世紀間貿易の大中心として重きをなし、市の城壁は古代の遺跡として今日猶見るこゝとが出来る。今日は大なる輸出貿易が行はれ港はポルト・エムペドクレ (Porto Empedocle) と云ふ。人口約二萬一千。

アグアスカリエンテス (Aguascalientes)。メキシコのアグアスカリエンテス州の首府。州と云ふも全く小さな州であり、州の面積二千九百六十八平方哩であり、州の人口十萬七千五百餘である。首府はメキシコ市の西北にあり鐵道によつて三六五哩の處にある。また鐵道によつてタムピコ (Tampico) 及び北米合衆國と連絡してゐる。海拔約六、四〇〇呎の高地にあり、多くの果樹園がある。人口四萬八千。

ペル (Peru) 國にもアグアスカリエンテスと稱せられる都會がある。この地名の意味は溫泉

の意である。

アグラス(Agulhas)。アフリカ大陸の最南端にある岬。語義は針との意であり、鋭く聳立せる岩礁あるが故に斯く呼ばれて居り、烈しき暴風雨に會ふ處である。アグラス・バンク(Agulhas Bank)と稱する海岸の連丘はこの岬から南アフリカの全海岸に延びてゐる。

アーマダバド(Ahmadabad)。印度のボムベイ行政區(Bombay Presidency)内にあるアーマダバド地方(district)の主要都市。サバルマチ(Sabarmati)河畔にあり、鐵道によつてボムベイの北三〇九哩の地點にある。綿業の中心地であり、金銀及び絹糸・陶磁器・紙及び錫を以て主要製造品としてゐる。市を圍繞するに城壁を以てし市の面積二平方哩。市内には回教の立派な殿堂がある。

一四一二年に創設され蒙古皇帝の下にあつた時は壯麗なる都會であつた。回教徒のグジャラト(Gujarat)王國の存在してゐた時にはその首

府であつた。一七八〇年英軍によつて奪取されその後マールッタ(Mahratta)族に返還されたが、一八一八年再び英政府のものとなつた。一九一九年の四月十一日にはローラット法令(Rowlatt Act)に對する反感によつて騷擾が勃發し政府の建物二棟が焼かれた。アーマダバド地方の面積三八一五平方哩。市の人口二十七萬四千餘。

アーマドナガル(Ahmadnagar)。印度ボムベイ行政區内のアーマドナガル地方にある主要都市。シナ(Sina)河畔にあり鐵道によつてボムベイの東二一八哩の處にある。鐵道は大印度半島鐵道(Great Indian Peninsula Rly.)と云ふ。市は城壁を以て圍まれ一四九四年の創設に係る市の面積三平方哩。一八〇三年ウェズリ(Wellesley)將軍によつて奪取された。製造品は木綿絹物類・銅・眞鍮器である。アーマドナガル要塞(Ahmadnagar Fort)は殘虐にも南アフリカ戦争の間にはボア(Boer)人の捕虜を埋葬する爲めに用ひられ、世界戦争中は獨乙人の捕虜を收容

する爲めに用ひられた。要塞は市より半哩東にある。アーマドナガル地方の面積は六六〇〇平方哩であり、主として農業地であり、産物は豆類稷類及び種油である。市の人口約五萬。

アフズ (Ahwaz 又は Ahwas 又は Ahwuz)。ペルシアの都會であつてアラビスタン (Arabistan) 州にある。カルン (Karun) 河畔にあり、バスラ (Basra) の東北七〇哩の地點にある。バルシア (Parthia) の最後の王アルタバナス (Artabanus) の首府の遺跡が附近にある。英國と波斯との戦争に於て一八五七年英軍の爲めに占領された。世界大戦當時は英波石油會社 (Anglo-Persian Oil Company) の油井を守護する爲めに一九一五年英軍はこれを占領した。同年三月土其古の大軍の進撃によつて一時退却の止むなきに至つたが、同年の末頃に再び英軍の手に歸した。

アイ (Ai)。又はハイ (Hai) とし、舊約聖書に述べられてゐるケーナナイト (Canaanite) 族の王の都會であつて、ベセル (Bethel) の東にあ

る。ゼリコ (Jericho) の陥落後イスラエル人はこの地に於て打破られ、ジョシュア (Joshua) によつて破られ市民と共に都會も亦滅亡した。

アイチン (Aidin)。土其古の都會。ゲゼル・ヒスナル (Guzel-Hissar) と稱す。アイチンの州 (Vilayet) 内にあり、スミルナ・デネイル (Smyrna-Dineir) 鐵道沿線にあり、スミルナの東南八一哩の地點にある。古代のツラレス (Tralles) の遺跡附近に建設された都會である。革製品を製造し、菓子・果實・木綿を以て名高い。一八九九年震災に遭ひ、一九一九年には土其古及び希臘はこの都會を爭奪せんとし土其古軍は敗れた。州の面積は二五、八〇〇平方哩であつて産物に富む。州の人口約二十二萬であり、市の人口三萬六千。

エイゲ・モルト (Aigues Mortes)。佛蘭西の都會で海港である。拉典名はアクエ・モルツエ (Aquae Mortuae)。ガール (Gard) 縣内にある。鐵道によつてニーム (Nimes) の南二四哩の地に

あり地中海より三哩、運河によつて通じ、市には一二八〇年頃に建てられた城壁及び塔がある。人口約四萬五千。

新著紹介

○地球化學

高橋純一譯

内田老鶴閣發行

定價六圓五十錢

本書はヴェルナドスキー教授著述の譯訂である。高橋博士は巴里留學に際したまゝ、祖國ロシアの難をさけて巴里ソルボンヌに來り地球化學の講義をしてゐたのを聽講した關係があり、原著には其後二回に亘つての改訂増補もあり、併せて原著者から邦譯を奨めて來たので原著獨逸版によつて本書を爲したとは同博士の卷頭に序する所である。蓋し地球化學が最近十年間に著しい發達を遂げ、今も猶日に日に新なる研究が續出するに際し、この學の歴史的發達と其一般概念を明にした本書が新刊されて、本邦の學界を裨益することは申迄もない事である。本書は第一に地球化學の概念及其發達史をのべ、次に化學元素の地殻に於ける產出狀態、マンガンの地球化學、地球化學輪廻のエネルギー、地殻の珪素及び珪酸物地殻に於ける炭素と生物質、地殻に於ける放射能元素の六章がそれ／＼興味ぶかいトビックの下に説明されてあつて菊版

○ヴァルーンの地理學 下卷

内山賢次譯

厚生閣出版

定價二圓五十錢

横組五百二十三頁の大冊となつてゐる。我等はこの書によつて地殻の化學的成立要素をしり、今日迄に考へてゐたよりもよりふかく自然と人生との關係を學ぶことが出来るのを喜び敢て江湖に本書を推奨する。(藤川)

上卷は既に出版されてゐる。本書は地理の讀本として米國で好評をうけたものを譯したもので上卷に歐洲、下卷にアジア・オーストラリア・アフリカ・アメリカが面白く書れてゐる。今日までの地理の理論と、其國の歴史と現狀といつたものを國ごとに簡明にかいてある。日本の膨脹する止むに止まれぬ勢といつたものも、正しく理解して説明されてゐる。世界の當面の問題にふれた流暢な著述である。小中學の先生方に、よい參考書となることを保證する。(藤川)

○滿洲國地名便覽

豐田慶一編

滿洲文化協會發行

定價一圓

本書は新版滿洲國地圖の索引であつて、地名の便覽ではない地名が漢字でかいてあつても、讀方の假名がないからである。滿洲の五萬分一的地圖はすべて漢字に假名がある。故にそれをもて、統一した讀方をつけるでなくては、地名便覽とはならない。(F)